

いのちの言の葉2014

富山県教育委員会平成26年度いのちの教育総合支援事業

『2つとないわたしのいのち』いのちの教室

富山市立新庄小学校3学年
平成27年2月5日実施

【いのちの先生】

大田 優子先生

・富山市民病院助産師(他2名)

<児童の感想>

1cmしかない産道を通って生まれてくるなんてすごいなと思いました。小さな針の穴くらいの大きさの受精卵が、お母さんのお腹の中で2000倍の大きさに成長することを初めて知りました。お母さんに「ありがとう」と言いたいです。

<保護者より>

命の大切さを学ぶことができてよかったね。一日一日大きくなって、あなたが産まれてきたのですよ。



<児童の感想>

最初は、すごく小さな赤ちゃんが、お腹の中でだんだん大きく育っていく様子がわかりました。産まれるとき、赤ちゃんが自分で産道を通して頭から出てくることを知って、すごいなと思いました。がんばって僕を産んでくれたお母さんに感謝したいです。

<保護者より>

とても大切なことを学べて良かったね。今は大きく育ったけど、お腹から出てくるときは一生懸命出てきたのが、この授業でよくわかったと思います。元気に大きく育ってくれてありがとう

<児童の感想>

今日の教室で、お母さんは痛いのがまんして、赤ちゃんを産んでいることがわかりました。DVDで見せてもらったお母さんは、汗びっしょりになって赤ちゃんを産んでおられたので、私のお母さんも一生懸命私を産んでくれたのだと思います。

<保護者より>

予定日より3週間早く産まれてきたので、心配でした。産まれたときのことを思い出します。小さく産まれたけれど、健康に育ってくれて本当にうれしいです。

